園だより　　１１月号

港区立芝浦アイランドこども園
令和　８年１１月２日　発行

10月24日(土)、中央区・港区の区政80周年を記念して、11年ぶりに東京湾大華火祭が開催されました。朝から小雨が降ったりやんだりのお天気でしたが、夜には大きな音とともに、たくさんの花火が夜空を彩りました。11年前には、あいぷらの屋上から花火を楽しむことができたそうですが、今回は改修工事のため足場が組まれており、屋上に出ることはできませんでした。それでも、当日出勤していた職員は、屋上階のエレベーターホールから、高く打ち上がる花火を見ることができたそうです。また、レインボーブリッジ付近からも花火が打ち上げられたため、ご自宅からご家族で鑑賞された方もいらっしゃったのではないでしょうか。警備上の事情などもあり、次回の開催はまだ決まっていないそうです。時代とともに、以前は当たり前のようにできていたことが、難しくなってしまうこともあります。だからこそ、今この瞬間を大切にしながら、子どもたちとの一日一日を過ごしていきたいと思います。

11 月は、こども家庭庁が定める「秋のこどもまんなか月間」です。この月間の取組の一つとして、児童虐待の防止について社会全体の関心と理解を深める**「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」**が全国で実施されています。港区では、令和 7 年 9 月に「港区こどもまんなか宣言」を行い、「児童虐待のない港区の実現」をはじめ、すべての子どもの権利が尊重され、安全・安心に暮らせるまちを目指しています。
オレンジリボン運動は、児童虐待のない社会の実現を目指す運動です。

オレンジリボンはそのシンボルマークであり、オレンジ色は子どもたちの明るい未来を表しています。

交通安全ルールを守りましょう

登降園時、横断歩道がある場所では横断歩道を利用し、運転者に横断する意思をしっかりと伝えて安全確認をしてからわたりましょう。これからだんだん日も短くなってきます。反射材用品や明るい目立つ色の衣服は車や自転車、他の歩行者にとっても認識しやすくなります。

園長　興津　夏子

◇　今月の教育・保育目標　◇

０歳児：　一人ひとりの健康状態を把握し、生活リズムを大切にしながら安心して過ごせるようにする
　　戸外遊びや散歩を通して秋の自然に触れる
１歳児：　秋の自然に興味を持ち進んで関わろうとする
　　保育者に見守られたり、介助されながら身の回りの事をやってみようとする
２歳児：　保育者と一緒に、手や服をきれいにする気持ちよさを知り清潔に過ごす
　　保育者や気になる友だちと一緒にイメージを共有して遊ぶ
３歳児：　園での生活の中で、手洗いや準備、片付けなどの身の回りに事を自ら行おうとする
　　自分のイメージを言葉や動き、造形遊びなど様々な方法で表現しようとする
４歳児：　季節を感じながら、自分から衣服の調節をするなど、健康で快適に過ごす
　　自分のイメージや考えを友だちと伝え合いながら、一緒に表現する楽しさを味わう
５歳児：　自分たちで主体的に生活を進めていく
　　友だちと共通の目的をもってやり遂げる満足感を味わう
一時保育：身支度を自分でやってみようとする気持ちが芽生える
　　友だちと一緒に園庭や散歩道で身体を動かす



4・5歳児発表会
12月　19日(土)あいぷら4階体育室　午前9時～12時　詳細については後日お便りでお知らせします。学年ごとに入れ替え制で行いますので、登園時間等をお確かめ下さい。